

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	3 4 7
		決裁期日	平成 2 3 年 7 月 4 日
名 称	第 3 回政策調整会議		
日 時	平成 2 3 年 6 月 2 4 日 (金) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 6 時 1 5 分 平成 2 3 年 6 月 2 8 日 (火) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 6 時 1 5 分 平成 2 3 年 6 月 2 9 日 (水) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 6 時 1 5 分 平成 2 3 年 7 月 4 日 (月) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 5 時 4 0 分		
場 所	役場 2 階 審議室		
出席者	《 構 成 員 》 田浦副町長、田中総務課長、服部教育振興課長、坂弥保健福祉課長、 前田産業振興課長、北向建設水道課長、北川町民生活課長 《 説 明 員 》 岡崎健康づくり担当課長 (1 2 、 1 3) 伊藤防災担当課長 (3 1) 《 庶 務 》 北川主幹、新井主査		
		合 計	1 2 名
内 容	下記のとおり		

開 会

議長あいさつ (田浦副町長)

事後評価

1 中小企業融資資金事業

[担当から資料により説明]

- ・金融機関で 3 倍の融資枠で中小企業に融資するために、町が融資の原資を金融機関に預託している。

[総 括]

- ・町内中小企業の育成振興と経営基盤の安定化のためには重要な事業なため、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

- ・ 次回評価年度 H 2 6

2 観光振興事業

[担当から資料により説明]

- ・ 各種イベント等に参加し、観光客誘致や観光振興を図っている。

[総括]

・ 行政の果たす役割と民間が果たす役割を明確にし、観光業関係だけではなく、商工業者等も参加した民間主導の取組に移行していくように図ること。

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し。

- ・ 次回評価年度 H 2 6

3 農業後継者対策事業

[担当から資料により説明]

- ・ 農業後継者、新規就農者の育成・確保のために、各種助成を実施。

[総括]

・ 農業振興には農業後継者対策は重要であるとともに、定住促進にもつなげるため、事業の拡大(新規就農者誘致のための研修先を増やすための制度設計等)を図ること。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大

- ・ 次回評価年度 H 2 6

4 教育総務事業

[担当から資料により説明]

- ・ 教育振興のために、教職員の研修活動等に対して負担金を支出。

[総括]

- ・ 教育振興のためには重要な事業のため、継続実施とする。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

- ・ 次回評価年度 H 2 6

5 姉妹校交流事業

[担当から資料により説明]

・ 西小学校と姉妹校である三重県津市の安東小学校と交流を行っており、H 2 2 は安東小学校からの訪問を受け入れ交流を行っている。

[総括]

- ・ 交流を通じて心豊かな子どもを育てることができる重要な事業であるため、継

続実施とする。

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価年度 H 2 6

6 いしずえ大学運営事業

[担当から資料により説明]

・高齢な方の正しい心、健やかな体、豊かな生活を築くために、いしずえ大学の運営を行っている。

[総括]

・地域ボランティア活動等にリーダーとして活躍できるように事業の拡大を図ること。

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大
- ・次回評価年度 H 2 6

7 子ども会育成事業

[担当から資料により説明]

・子どもの健全育成と町内子ども会の活動支援のために育成協議会を通じた各種事業等の活動を実施している。

[総括]

・次世代を担うジュニアリーダーのさらなる育成に繋がるように事業の拡大（研修強化等）を図ること。

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大
- ・次回評価制度 H 2 6

8 青少年健全育成をすすめる会負担

[担当から資料により説明]

・青少年の健全育成と非行防止のために活動している青少年健全育成をすすめる会に負担金を支出。

[総括]

- ・青少年の健全育成を推進するためには重要な組織のため、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

9 青少年団体協議会活動補助事業

[担当から資料により説明]

・地域づくりを担うリーダーを養成するために、青少年団体協議会の運営に対し補助金を支出。

[総括]

・職域を越えた他の青年団体(農・商・工の青年部等)と連携した取組を目指し、事業の拡大を図ること。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大

・次回評価制度 H 2 6

1 0 放課後子どもプラン事業

[担当から資料により説明]

・放課後の子ども達の安全な居場所作りと留守家庭等の子育て支援を行うため、各小学校等を会場として地域住民が指導員となりスポーツや各種遊びを行いながら子どもたちの見守りをを行っている。

[総括]

・平成22年に料金の見直しを行っているが、より適正な料金になるように検討すること。

・同様な事業を実施している児童館運営との整合性がとれるように検討すること。

・必要性 A、効率性 A、公平性 B、方向性 見直し

・次回評価制度 H 2 6

1 1 文化祭事業

[担当から資料により説明]

・町の文化発展に寄与するために、文化芸能活動の発表の場として、文化祭を開催。

[総括]

・町の文化・芸術の発展のためには重要な事業であるため、継続実施とする。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

・次回評価制度 H 2 6

1 2 予防接種事業

[担当から資料により説明]

・国で定められている定期接種以外の予防接種について、接種費用の補助を行っている。

[総括]

・感染症予防対策のためには重要な事業なため、継続実施とする。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

1 3 食育推進事業

[担当から資料により説明]

・ 正しい食習慣を身につけるために乳幼児（保護者）から中学生を対象とし、各種料理教室等を開催。

[総括]

・ 一人ひとりが食に関する正しい知識と食を選択する力を身につけ健全な生活を送るためには重要な事業であり、継続実施とする。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

1 4 在宅福祉（配食サービス）事業

[担当から資料により説明]

・ 在宅の高齢者等に栄養に配慮された食事を届け、食生活の自立支援を行うとともに、安否確認もあわせて行っている。

[総括]

- ・ 在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

1 5 在宅福祉（移送サービス）事業

[担当から資料により説明]

・ 車椅子や寝たままの状態、一般車両での移動が困難な高齢者等を特殊車両で移送している。

[総括]

- ・ 在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

1 6 在宅福祉（理容サービス）事業

[担当から資料により説明]

・ 理容院に行けない高齢者や障がい者に理容師の派遣を行っている。

[総括]

- ・在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

1 7 在宅福祉（除雪サービス）事業

[担当から資料により説明]

- ・65歳以上の一人暮らしの方等で除雪が困難な方に対し、冬期間の除雪支援サービスを行っている。

[総括]

- ・在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

1 8 在宅福祉（緊急通報サービス）事業

[担当から資料により説明]

- ・65歳以上の独居世帯等に緊急通報装置の設置を行っている。

[総括]

- ・在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

1 9 在宅福祉（電話サービス）事業

[担当から資料により説明]

- ・在宅の一人暮らしの高齢者等に電話することにより、安否確認や孤独感の解消を図っている。

[総括]

- ・在宅福祉の推進のためには重要な事業であり、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

2 0 在宅福祉（寝たきり老人等おむつ購入費助成）事業

[担当から資料により説明]

- ・在宅で寝たきりとなって常時おむつを使用している高齢者等のおむつ購入費の補助。

[総括]

・在宅福祉の推進のためには重要な事業であり継続実施とするが、補助額については、社会的情勢に対応しているか、不断の見直しを行うこと。

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

2 1 介護保険 在宅サービス利用負担軽減補助事業

[担当から資料により説明]

・介護保険在宅サービスの利用負担を軽減するために、利用料の一部を補助。

[総括]

- ・在宅福祉を推進するためには重要な事業であるため、継続実施とする。
- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・次回評価制度 H 2 6

2 2 敬老祝い金事業

[担当から資料により説明]

・町内居住の高齢者（喜寿、米寿、白寿）に対し敬老の意を表すために、町商工会商品券を手渡しし、長寿をお祝いしている。

[総括]

- ・H 2 4 までの事業とし、H 2 5 からは、よりニーズの高い高齢者福祉施策に事業転換すること。
- ・必要性 B、効率性 B、公平性 B、方向性 将来廃止
- ・次回評価制度 H 2 6

2 3 ボランティア活動事業

[担当から資料により説明]

・ボランティア活動拠点となるボランティアセンターにコーディネーターを配置している社会福祉協議会に対し補助金を支出。

[総括]

- ・補助目的に沿った活動となるように社会福祉協議会と今後のあり方（地域課題の解決に向け）について協議する必要があるため、見直しとする。
- ・必要性 B、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し
- ・次回評価制度 H 2 6

2 4 障害児福祉対策事業

[担当から資料により説明]

・発達支援センターで、発達障害児が集団生活に適應できるように指導・訓練を行っている。

[総括]

・発達障害に対し、早期に支援・指導を行うには、関係機関等との連携強化や、人的体制の強化が必要であり、その体制強化に向けた事業の拡大を図ること。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大

・次回評価制度 H 2 6

2 5 保育所運営事業

[担当から資料により説明]

・中央保育所での保育事業及び民間保育所での運営に対して負担金、特別保育に対し補助金を支出。

[総括]

・多様な保育サービスのニーズに対し、的確に保育サービスを提供するとともに、更なる充実を図りつつ事業の拡大(ファミリーサポートの有効活用等)を図ること。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大

・次回評価制度 H 2 6

2 6 児童館運営事業

[担当から資料により説明]

・地域児童の健全な遊び場等として西児童館、東児童館を運営。

[総括]

・利用実態を把握したうえで、同様な事業を実施している放課後プラン事業との整合性がとれるように検討すること。

・必要性 B、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し

・次回評価制度 H 2 6

2 7 子育て支援センター運営事業

[担当から資料により説明]

・子育て支援対策の拠点施設として、各種育児教室を実施。

[総括]

・町の重要課題である子育て支援対策の拠点施設として、事業の拡大(人的体制の強化等)を図ること。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 拡大

- ・ 次回評価制度 H 2 6

2 8 職員研修事業

[担当から資料により説明]

- ・ 職員の能力向上のために、各種研修に職員を派遣している。

[総括]

- ・ 職責に応じた研修機会、内容等の充実に向け、見直しを行うこと。
- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し
- ・ 次回評価制度 H 2 6

2 9 ホームページ運用管理事業

[担当から資料により説明]

- ・ 行政用ホームページを開設し、行政情報を広く公開。

[総括]

- ・ 利用者の視点に立った利用しやすいホームページになるように、見直しを行うこと。
- ・ 必要性 B、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し
- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 0 耐震対策（既存住宅耐震改修費補助）事業

[担当から資料により説明]

- ・ 既存住宅の耐震化費用に対し補助金を支出。

[総括]

- ・ 事業継続とするが、住宅リフォーム等助成とあわせ、補助が活用されるように、取り組むこと。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 1 防災訓練事業

[担当から資料により説明]

- ・ 十勝岳噴火に備え、総合防災訓練を関係機関等と合わせて実施している。

[総括]

- ・ 十勝岳噴火以外の災害(洪水等)を想定した町単独の防災訓練を行うなど、様々なケースに応じられる体制づくりに向け、見直しすること。
- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し

- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 2 まちづくりトーク事業

[担当から資料により説明]

- ・ 行政課題に応じてテーマを決定し、町民と直接意見交換を行っている。

[総括]

- ・ 事業のPRを積極的に行い、制度を活用すること。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 3 町長と語ろう事業

[担当から資料により説明]

- ・ 町民等が主催する集会等に町長が出席し、町長と直接意見交換を行っている。

[総括]

- ・ 事業のPRを積極的に行い、制度を活用すること。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 4 町民ポスト事業

[担当から資料により説明]

- ・ 町民ポストを設置し、町民からの行政に対する意見を募集している。

[総括]

- ・ 町民との協働のための情報共有方法として重要な事業であるため、継続実施とする。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続
- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 5 パブリックコメント事業

[担当から資料により説明]

- ・ 政策形成過程での情報提供及び町民からの意見募集を行い、政策に反映させている。

[総括]

- ・ 町民との協働のための情報共有方法として重要な事業であるため、継続実施とする。
- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 6 出前講座事業

[担当から資料により説明]

- ・ 役場の仕事や制度について、役場職員が講師となって講座を行っている。

[総括]

・ 町民との協働のための情報共有方法として重要な事業であるため、継続実施とする。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 7 行政サービス制限

[担当から資料により説明]

- ・ 町税等の滞納を防止するため、滞納者に対し行政サービスの制限を実施。

[総括]

・ 町税等の負担の公平性、公正性を保つには重要な事業であるため、継続実施とするが、制度運用の徹底を図ること。

- ・ 必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 8 住民基本台帳ネットワーク事業

[担当から資料により説明]

・ 全国共通の本人確認ができる住民基本台帳をネットワークシステムの運用及び住基カードの交付を行っている。

[総括]

・ 住基カードへの町独自の機能（避難者カード等）の付加について検討し、普及促進を図ること。

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、方向性 見直し

- ・ 次回評価制度 H 2 6

3 9 消費生活相談事業

[担当から資料により説明]

・ 多様化、複雑化する消費相談業務に対応するため、富良野消費生活センターに専属の職員を常駐させ、悪質な訪問販売等からの相談を受けている。

[総括]

・町民の安心、安全な暮らしを守るためには、重要な事業であるため、継続実施とする。

・必要性 A、効率性 A、公平性 A、方向性 継続

・次回評価制度 H 2 6